

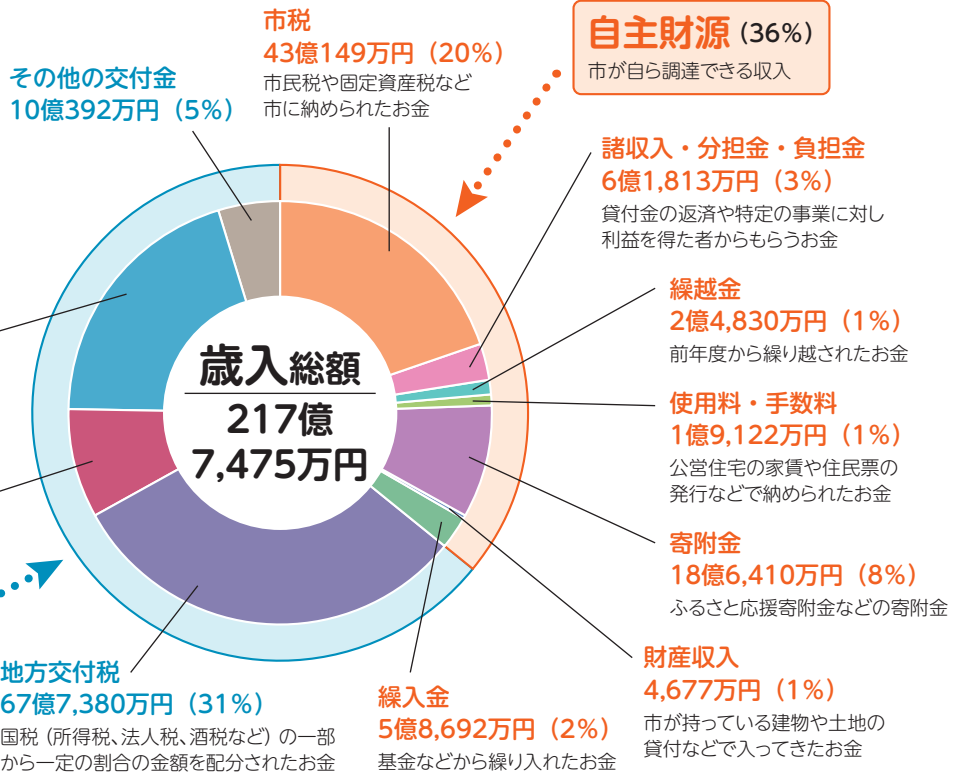
小城市の家計簿

決算報告

普通会計 歳入の内訳



収入では、昨年度に比べて主に、貯金の取崩し（繰入金）が増えています。これは、ふるさと応援基金を繰り入れたことによる増額です。一方、親からの援助や雑収入（寄附金）が減っています。これは、家の建替え（市営住宅建替事業など）が前年度に完了したことによる減額です。



依存財源 (64%)
国や県の決定や割り当てによって交付される収入。市独自で収入額を決められない。

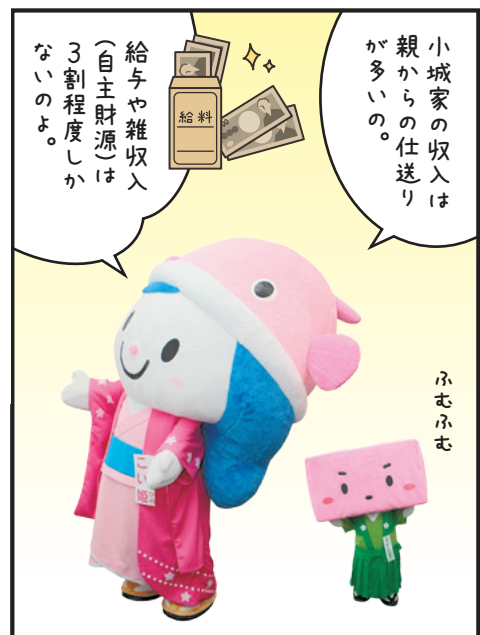
小城家の家計簿

市の平成30年度普通会計決算額を1カ月の家計に例えてみました。市民1人当たりの金額に置き換えると…

小城家の1カ月の収入の内訳

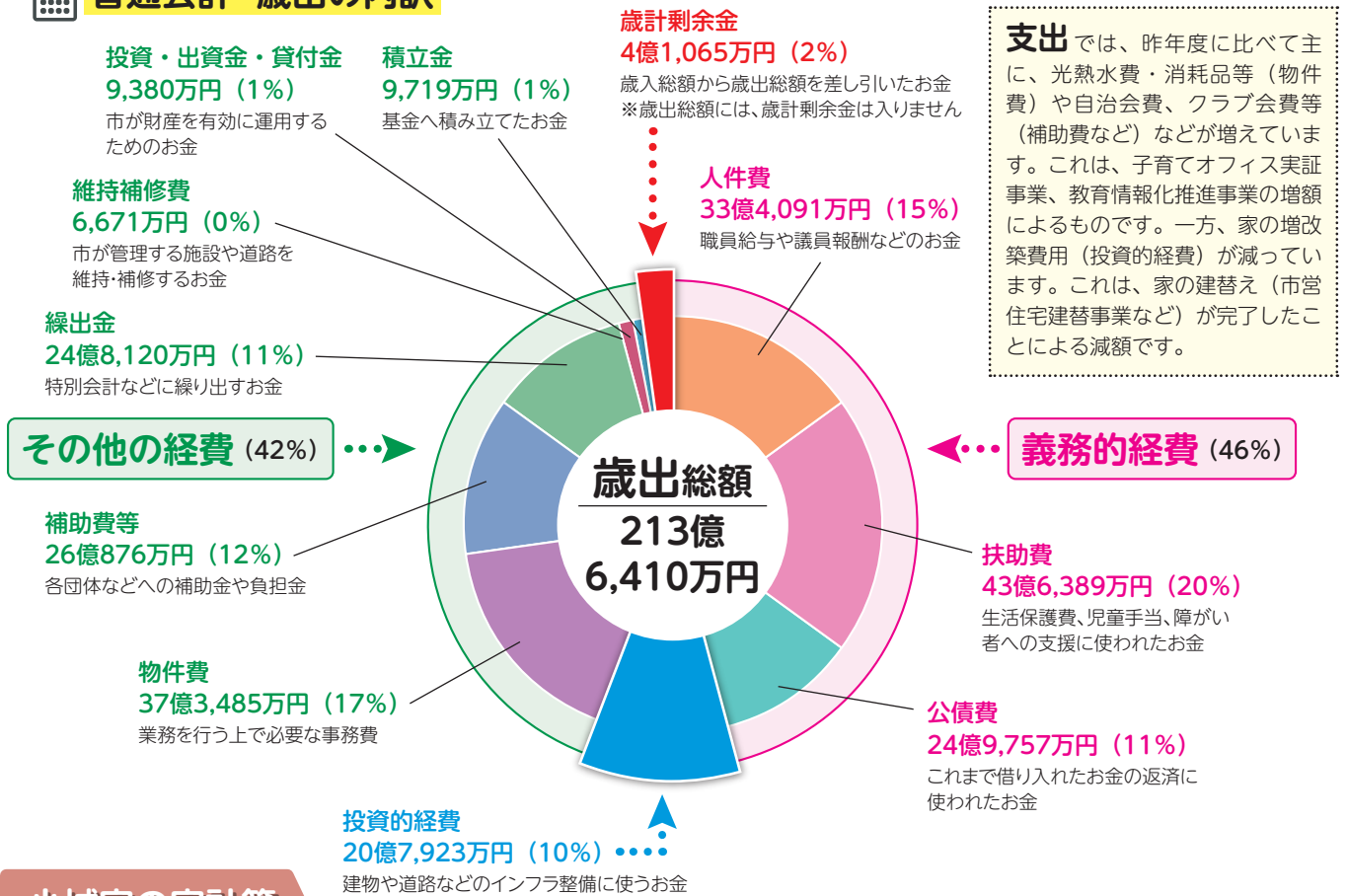
	収入	増減率
給料（市税）	95,140円	0.3% ↑
親からの援助・仕送り（国・県支出金など）	267,876円	8.0% ↓
雑収入（諸収入・寄附金など）	60,166円	0.7% ↓
貯金の取崩し（繰入金）	12,981円	47.6% ↑
前月からの繰越金（繰越金）	5,492円	14.6% ↓
新たな借入金（地方債）	39,958円	15.5% ↓
合計	481,613円	

平成31年3月31日 住民基本台帳人口 45,212人





普通会計 歳出の内訳



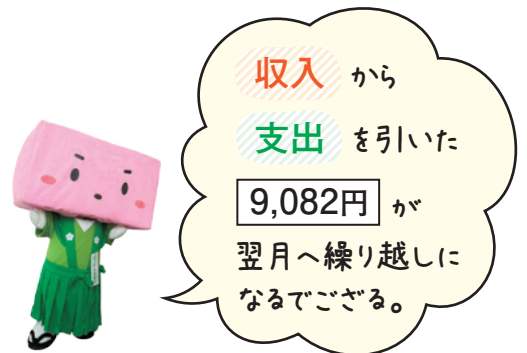
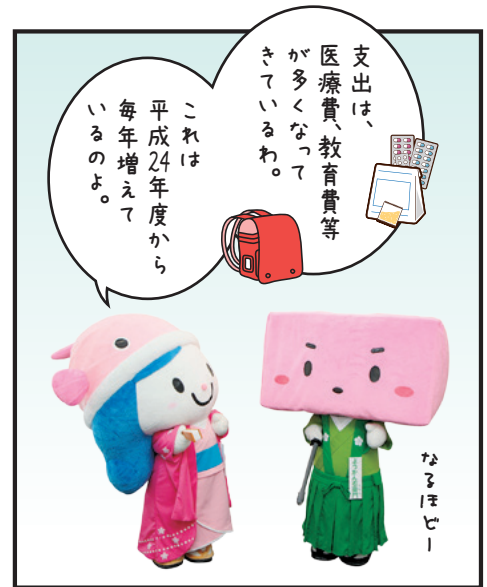
支出では、昨年度に比べて主に、光熱水費・消耗品等（物件費）や自治会費、クラブ会費等（補助費など）などが増えていきます。これは、子育てオフィス実証事業、教育情報化推進事業の増額によるものです。一方、家の増改築費用（投資的経費）が減っています。これは、家の建替え（市営住宅建替事業など）が完了したことによる減額です。

小城家の家計簿

小城家の1カ月の支出の内訳

支出	金額	増減率
食費（人件費）	73,894円	1.3% ↑
医療費、教育費等（扶助費）	96,521円	0.8% ↑
ローンの返済（公債費）	55,241円	1.1% ↑
光熱水費・消耗品等（物件費）	82,607円	1.8% ↑
自治会費、クラブ会費等（補助費など）	57,701円	35.3% ↑
子どもへの仕送り（繰出金）	54,879円	0.3% ↑
家の修繕費（維持補修費）	1,475円	18.0% ↓
友達へ貸したお金（投資・出資金・貸付金）	2,075円	2.6% ↓
貯金（積立金）	2,150円	31.7% ↓
家の増改築費用（投資的経費）	45,988円	49.0% ↓
合計	472,531円	

平成31年3月31日 住民基本台帳人口 45,212人



指標から見る財政状況

	平成30年度	平成29年度
経常収支比率		
財政の弾力性 (ゆとり)の指標	94.2%	92.2%
実質公債費比率		
借金返済の割合	5.0%	4.7%
財政力指数		
自前の財源の割合 (3カ年平均)	0.41	0.41
市税徴収率		
(現年課税分)	99.2%	99.3%

経常収支比率

用途を制限されない経常的な収入(地方税、普通交付税などの毎年収入される性質のもの)に対する経常的な支出(人件費、公債費、扶助費などの毎年経常的に支出されるもの)の割合です。この割合が低いほど自由に使えるお金があることとなります。

実質公債費比率

借入金(地方債)の返済額およびこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すもので、一般会計等が負担する元利償還金等の標準財政規模に対する比率です。

財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指標です。財政力指数が高いほど自主財源(地方公共団体が自ら調達できる財源)の割合が高く、財政力が強いこととなります。これが1を超えると、普通交付税は交付されなくなります。

各会計の決算収支

平成30年度会計別決算

	会計名	歳入決算額(収入)	歳出決算額(支出)
普通会計	一般会計	217億7,475万円	213億6,410万円
	小計	217億7,475万円	213億6,410万円
特別会計	簡易水道特別会計	2,978万円	2,823万円
	下水道特別会計	22億8,323万円	22億3,449万円
	国民健康保険特別会計	50億4,937万円	48億8,310万円
	後期高齢者医療特別会計	5億3,974万円	5億2,993万円
	小計	79億 212万円	76億7,575万円
	合計	296億7,687万円	290億3,985万円
公営企業会計	病院事業会計	12億3,889万円	13億4,192万円
	水道事業会計	2億9,979万円	3億2,935万円

※平成30年度決算報告(普通会計)のグラフと上記の普通会計の小計が合わないのは、普通会計間のやり取り(繰入繰出)がなかったものとして相殺処理をしているためです。

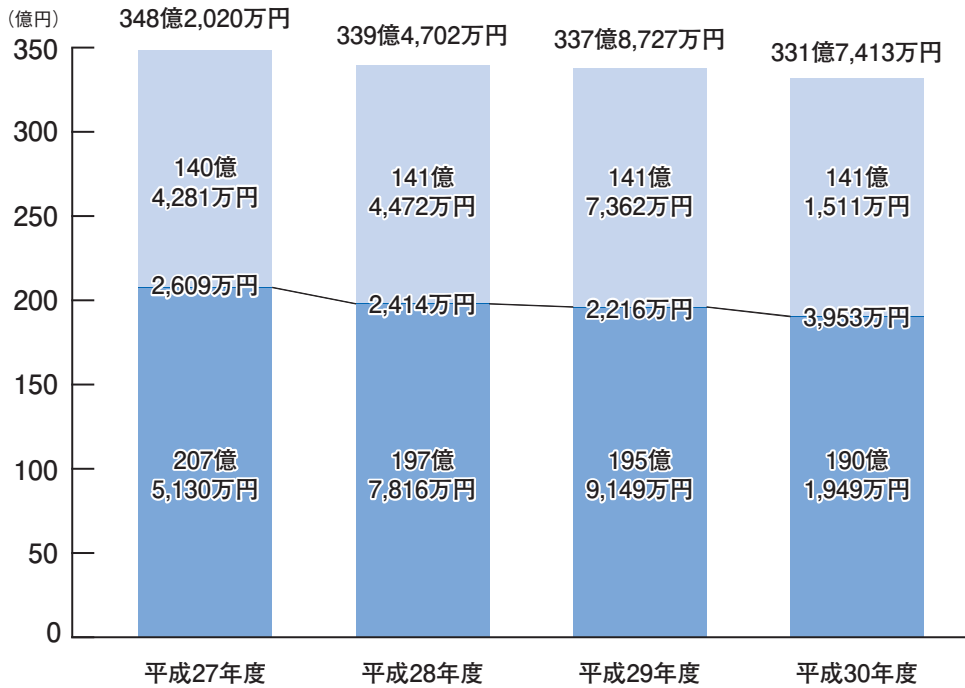




小城市の借入金 (年度末残高)

借入金は前年度より6億1,314万円減り、331億7,413万円となりました。

■ 下水道特別会計 ■ 簡易水道特別会計 ■ 一般会計 ※水道事業会計、病院事業会計は除く。



借入する
 事業の精査や
 繰上償還をして、
 残高の抑制に
 取り組んで
 いるのよ。



そうすると、建設にかかる経費を1年で支払うとした場合に、建設された時の現役世代にとっては、施設を建てるためにお金を使うから、他に必要ない事業ができなくなったりするの。

例えば、新しい建物を作るとすると、皆さんのお金が必要になるでしょ？

でも、その施設は数十年使用される。

なぜ借りるのでござるのか？

市債を借りて、段階的に償還していくことで、世代間の不公平の解消にもなるのよ。

県内10市の一般会計の借入金の平均は、323億1,722万円です。

そうなの。

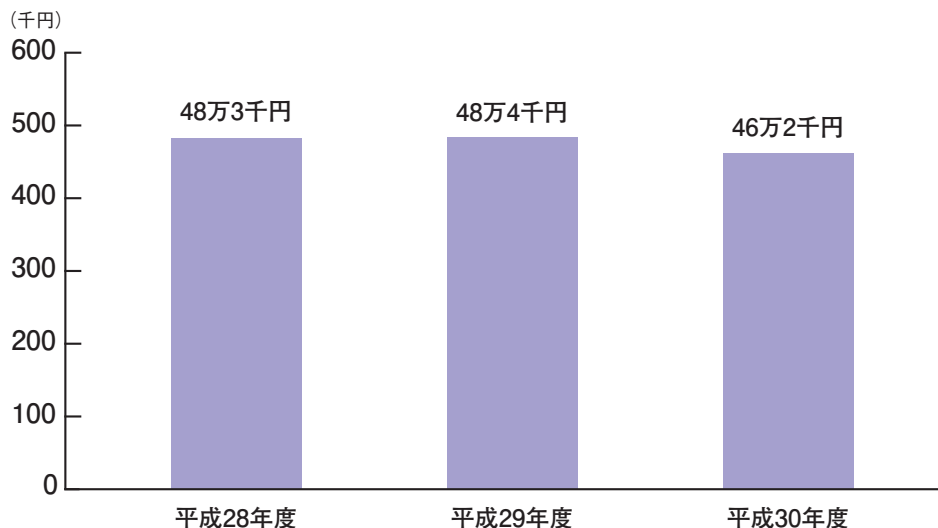
不公平になっちゃうでござるな。

それでは、施設が建てられた後に生まれた世代は、何の負担もなしに施設を利用できて、



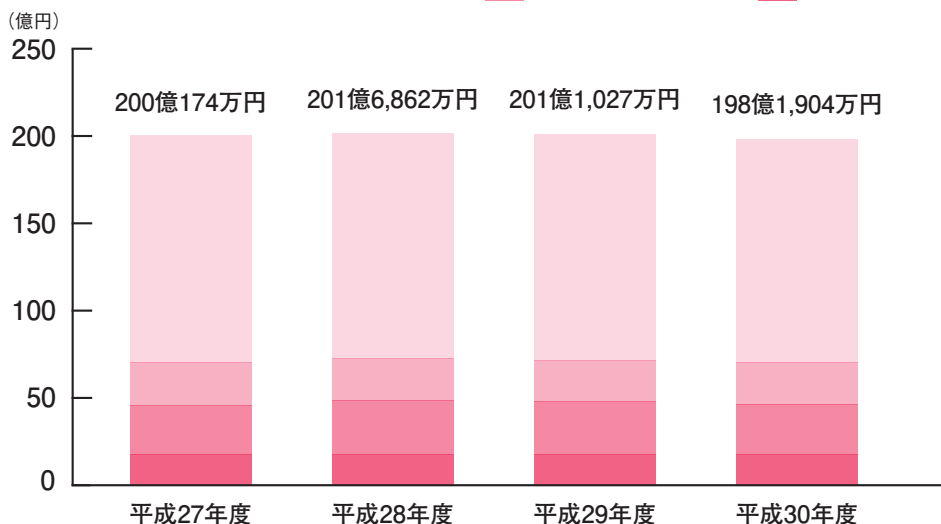
住民1人当たりの負債額

負債額（地方債など）を住民の人口1人当たりで計算すると、46万2千円になります。



小城市の貯金 (年度末残高)

■ その他特定目的基金 ■ 公共施設整備基金
■ 減債基金 ■ 財政調整基金



市の貯金は198億1,904万円となり、前年度より2億9,123万円減少しました。今後も一般会計では、給食センターの建設や義務教育施設の改修などを計画しています。下水道事業については、令和12年までの整備を計画しています。こうしたことから、今後小城市の貯金は減少していきます。



政策 4 みんなが健やかで 生きがいを感じるまち

健康づくりと生涯スポーツの充実

生涯
学習課

トップアスリート交流事業
181万9千円

市民のスポーツへの関心を高め競技力の向上につなげるため、交流宣言を行っているサガン鳥栖のサッカーのほか、各方面で活躍している競技アスリートとの交流事業を行いました。

政策 5 みんなでささえあう やさしいまち

高齢者福祉・介護の充実

高齢障がい
支援課

地域包括支援センター運営事業
1,701万9千円

地域包括支援センター機能の充実・強化のため、市が運営する地域包括支援センターを開設しました。

政策 6 子どもが自分らしく 笑顔で育っていけるまち

子育て支援の充実

社会
福祉課

子どもの医療費助成事業
1億7,442万2千円

0歳から中学生を対象に、医療費の助成を行いました。

保育
幼稚園課

保育所等整備補助事業
1億8,488万6千円

子どもたちの安心・安全を確保し、教育・保育のより良い環境を整備するため、牛津ルーテルこども園の移転・増改築費用のうち保育園部分に対する補助や、小規模保育事業所の幼児用トイレ改修などに係る費用の補助を行いました。

学校教育、幼児教育・保育の充実

教育
総務課

小学校施設大規模改造事業（3期目）
1億5,675万5千円

経年劣化や機能低下する校舎について、教育環境の改善や耐久性の向上を図る目的として、牛津小学校の校舎・体育館の改修工事を行いました。

教育
総務課

小中学校空調設備整備事業（1期目）
1億3,197万円

児童・生徒の健康面・衛生面への配慮や、学習環境の充実を図るため、空調設備整備に係る業者選定や設計業務を行いました。

保育
幼稚園課

認定こども園施設整備事業
6,316万5千円

子どもたちの安心・安全を確保し、教育・保育のより良い環境を整備するため、牛津ルーテルこども園の移転・増改築費用のうち、幼稚園部分に対する補助を行いました。

平成30年度に実施した 主な事業を紹介します

政策 1 住みたい!と思う 笑顔が集まるキレイなまち

計画的な土地利用の推進と効率的な都市づくり

定住
推進課

移住・定住対策事業 6,454万7千円

人口減少対策や地域活性化を図るため、移住・定住者に対し奨励金を交付しました。

下水処理の充実

下水道課

小城処理区事業 4億670万2千円

小城処理区内において、下水道の整備を行いました。

循環型社会の形成

環境課

天山地区共同環境組合事業（建設）
8億4,817万2千円

可燃ごみ焼却施設の建設を、多久市と共同で行うために必要な費用を負担しました。

政策 2 安全に みんなが行き交うまち

道路の保全と交通網の充実

建設課

道路新設改良事業 7,938万8千円

一般車両、歩行者などの安全性と利便性を確保するために、道路改良工事を行いました。

建設課

スマートインターチェンジ整備事業
1億2,509万6千円

小城市の産業振興をはじめ、災害時の広域支援体制の向上など地域の活性化を図るため、長崎自動車道小城PAにスマートインターチェンジを整備しました。

政策 3 歴史、文化と歩んでいく 自然豊かなまち

歴史の継承、文化・芸術の振興

文化課

小城明治維新150年記念事業
1,088万7千円

明治維新150年を契機に、小城の偉業・偉人の顕彰の取り組みや先人たちの「志」を未来につなぎ、ふるさと小城への愛着や誇りの醸成を図るため、展示会の開催や資料の制作などを行いました。



梧竹モニュメント

平成29・30年 災害復旧について

建設課 道路橋りょう災害復旧事業
847万3千円

江里山小林線、大地町原田線、川原桑鶴線、山崎西川線など被災した道路の原形復旧を行いました。

農林水産課 林業施設災害復旧事業
1,011万4千円

林道天山線、林道寺浦線、林道畑田・天川線、作業道宮ノ尾線の土砂撤去や路肩補修など被災した林業施設の原形復旧を行いました。

農村整備課 農地及び農業用施設災害復旧事業
3,226万円

農地1箇所、農業用道路1箇所、農業用水路7箇所など被災した農地および農業用施設の原形復旧を行いました。

平成30年台風24号の災害復旧について

生涯学習課 体育施設災害復旧事業
461万2千円

三日月ふれあい公園のテニスコート防球ネットの復旧工事や、三日月グラウンド観覧席上屋の復旧工事を行いました。



政策7 地域の資源を活かし 企業も市民も元気なまち

農林業の振興

農村整備課 基盤整備促進事業 5,473万2千円
農業基盤整備促進事業 9,467万円

農業競争力の強化を図るため、^{あんきよ}暗渠排水整備や水路整備などを行いました。

政策9 市民みんなが観光ガイド！ひとがひとを呼ぶまち

観光の振興

商工観光課 インバウンド対策事業 110万9千円

小城駅、牛津駅のWi-Fi整備や外国語情報誌への観光情報掲載を行い、外国人観光客が不自由なく市内を観光できるよう、受け入れ態勢を整えました。

政策10 ひとりひとりの力を合わせて防犯・防災 安心して暮らせるまち

防犯体制の充実

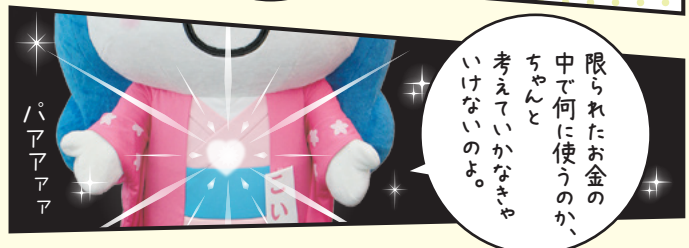
防災対策課 LED防犯灯設置補助事業
491万3千円

夜間における犯罪発生の防止および地域住民の通行の安全のため、行政区が設置するLED防犯灯の経費に対してその一部を補助しました。



お願いね♪

これからは、小城市民として何が必要かできる限り考えていくでござる！



ふるさと納税を 活用しています

全国から集まった寄附金額

平成 30年度 **55,456件**
18億6,184万円

全国の皆さんからいただいたふるさと応援寄附金（ふるさと納税）はさまざまな事業に活用されています。その活用例の一部を紹介します。

市へ寄附をする際は3つの項目があります



1 子ども・子育て・教育のまちづくり



小城・芦刈給食センター、
三日月・牛津・砥川
小学校給食事業
8,050万円

給食施設の維持管理費とさせていただきます。



教育情報化推進事業
4,300万円

小・中学校でのICT教育の推進を図りました。



児童センター費
1,400万円

施設の運営維持管理費とさせていただきます。

2 健康・福祉のまちづくり

がん検診事業 2,770万円
がん検診の費用を一部助成し、対象年齢の人にがんの早期発見、早期治療を目的として、がん検診の受診促進を図りました。



予防接種事業 8,800万円

乳児から高齢者まで、予防接種の促進を図りました。

乳児健康診査事業
250万円

子どもたちの健やかな成長のため、乳児健診の促進を図りました。



3 市長おまかせコース



都市公園維持管理事業 1,000万円

市内にある都市公園の維持、整備などを行いました。

シティプロモーション
推進事業 600万円

小城市のプロモーションの推進を図りました。



子育てオフィス実証事業 990万円

乳幼児を持つ母親が子どもと一緒に出勤し、柔軟に働ける環境を整えるため、小城市から委託を受けた民間事業所が、市内ショッピングセンターの空き店舗や空きスペースなどを活用して、託児スペースを備えたオフィスを整備し、運営しています。

公共交通維持活性化
事業 1,600万円

小城市内を走る巡回バスの運行にかかる費用、およびバスを購入しました。

